



当院における 透析治療について

腎臓内科 茂木 伸介



当院腎臓内科は慢性腎臓病の診療、腎不全となった方への血液透析の導入などを行っております。当院での透析ベッドに限りがあることから、大多数は近隣の透析病院に維持透析はお願いしておりますが、利根沼田地域での中核病院として、近隣の医療機関と連携しながら診療に当たらせていただいております。



腎不全について

腎臓の役割としては①老廃物の排泄、②水分量の調節、③体液バランスの調節、④血圧の調節、⑤造血ホルモンの分泌などの働きがあります。このため、腎臓の働きが落ちてくると食欲低下や体のむくみ、高血圧、貧血など実に様々な症状が見られるようになります。こうなってきた場合、腎臓の代わりとして透析を行う必要があります。近年、腎不全の原因の第一位は糖尿病であり、当院では糖尿病内科の医師とも連携して診療に当たっています。

当院での透析治療について

透析とは、体外で人工腎臓を使うことで血液中にたまった老廃物や余分な水分などを取り除く治療です。血液透析は週3回、1回4時間がスタンダードとされていますが、当院では患者様に合わせてより長時間の透析も行っています。また、午前だけでなく月・水・金は夜間透析も行っており、仕事をされている方のニーズにもお応えしています。

総合病院という性格上、通常の透析だけでなく、細菌が体内に入り血圧が下がった際に行なうエンドトキシン吸着療法、クローン病や潰瘍性大腸炎に対して行う白血球除去療法(LCAP)を行ったり、近隣の透析病院で合併病を生じ入院加療が必要となった方の受け入れなども行っております。



◀ 現病院での透析室

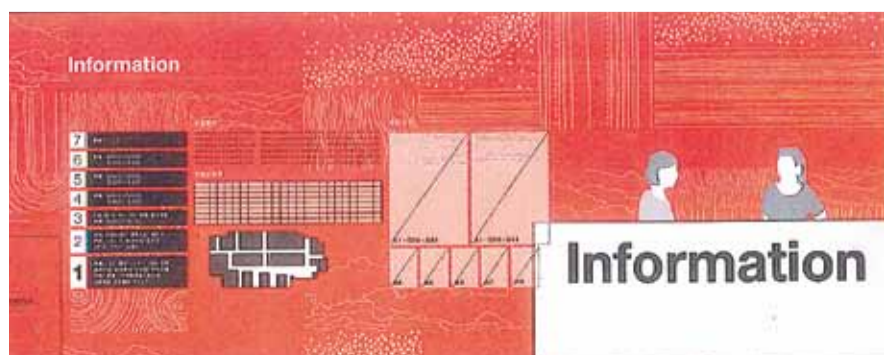
新病院では

新病院の透析室は2階に設置されます。感染症患者様の透析にもより安全に対応できるよう、透析治療室フロア内に個室2室を設置しました。ベッド数は現在より1ベッド増床し30床となります。また、HCU、3階病棟の一部にも透析用の配管を施し、重症患者様などはベッドサイドで透析治療を受けることができます。

腎臓内科医師を中心に、看護師、臨床工学技士の協力で、これからもより安全な透析治療を提供していきます。

サイン計画

五大（地・水・火・風・空）の要素をパターン化し、フロアごとにパターンと色を変えることにより、わかりやすい空間と認識しやすいサインをデザインします。



▲ エントランスのイメージ

◀ 総合案内・受付サインのイメージ

新病院の機械設備について

大成温調株式会社

建設物の特徴及びこだわり

利根中央病院機械設備の特徴は省エネルギーを考慮し、計画されています。

まず空調設備においては、ガスコージェネレーションシステムを採用しています。ガスが燃料なのでCO2の排出量が少なく、地球の温暖化防止にも貢献しています。ガスを燃焼させた熱を利用して建物内の電気を発電しています。また、その際発生した廃熱を利用して暖房設備や給湯設備の熱源として利用しています。

そして衛生設備においては、沼田の良質な地下水を利用して病院の給水設備に利用しています。

地下水をくみ上げ濾過装置を介して受水槽（貯水タンク）に貯めて沼田市から供給される市水と併用して供給しているため、水道使用量もその他の施設と比べても格段に少なくなります。

また、作業員の中には沼田市周辺の業者にもご協力いただき、このような計画を効率的に使用していただくため現場職員と作業員が一致団結して施工しております。



▲工場検査（ガスコージェネレーション） ヤンマー岡山工場にて性能試験を実施

現在の進捗状況

建物内では、天井内の設備工事から仕上げ工事に移行しています。下階からは仕上げ工事の器具取付工事を始めました。

また、熱源機械棟内では、熱源設備工事を進めています。熱源工事は病院内の心臓部でさまざまな機械と配管も太く危険な作業を伴いますが、メインの配管は事前にプレハブ（工場制作）化されたものを接続していくため、現場での作業効率も上がり短い工事期間の短縮化を図っています。



◀共同溝（配管主管）
病院棟と機械棟を地下で結ぶ各種配管

ものづくりへの想い

私たちは、水と空気を取り扱うことを専門にしています。設計コンセプトがある中で、快適な職場づくりにするよう、使用者様がどのような使い方をされるのか、また患者さんがどのような使い方をするのか部門様ごとのヒアリングを重ね、さまざまな意見を頂戴し極力ストレスを感じず使用していただけるよう打ち合わせを重ねてまいりました。時には、夜中までお付き合いいただいたこともありました。

また、各部門様もお忙しい中、事前に院内調整をして、ご協力いただいたことを感謝申し上げます。私たちも、関係者様のご苦勞を無駄にしないよう造りあげてまいります。

組合員様の「夢をかたちに」を胸に、無事故・無災害で皆様に喜んでいただける建物をお引き渡しできるよう、精一杯努力いたしますので引き続きよろしくお願い申し上げます。

新病院建設進捗状況

内装仕上げ工事が進み、3階の病室は、壁、天井、床がはられ、メディカルコンソールや空調、電気も設置され全体像が明らかとなってきました。

病院建設は、5月中旬頃までにほぼ完成する方向で進んでいます。



▲4床室



▲個室



▲正面玄関を入り、すぐ右手には出資金・通院支援の窓口が設置され、生協に関する相談なども可能となります。